

新聞発表第七三四号

八月一日

上海七月三十一日發其筋着電

宋子文一財政部長宋子文が日本に對し團匪賠償金支拂の猿智

慧

停止を聲明せるがその裏面には支那一流の策謀に依ることが暴露し外交上重大問題とならんとしてゐる即ち宋子文は南京政府の財政難を救はんが為名目を滿洲國海關接收に借りて一時内外債及賠償金の「モラトリアム」を實行し其半面に於て列國の滿洲國及日本に對する反感を助長し滿洲問題を有利に解決せんと企圖したもので宋子文は南京政府要人の反對あるに拘らず右の理由を高調し「石二鳥」の政策の第一歩として對日聲明を發したものであるが其結果列國より意外に頓擧感定されたので目下大狼狽の態であると二七月二十九日正午宋子文は税関々係者に對し「東北海關封鎖問題は目下研究中であつて十分なる成算あるを認めてから封鎖命令を出す筈」と意志の表示をなした